

北海道高等学校PTA連合会大会（旭川・留萌・名寄大会）における 動画配信を活用した取組

北海道富良野高等学校

本校では、11月に実施したPTA役員会において、今年度の全道大会で実施された「分科会Ⅰ 子どもの進路のために親ができること」における札幌大谷大学の平岡教授の講演の動画配信を活用して、子どもの進路のために親としてできることについて、お互いの意見や感想を交流しました。



【動画視聴の様子】



【意見や感想を交流している様子】

<出された意見や感想>

- よいお話でした。学校を出れば社会人になれるわけではないと常々考えていました。講演にもあった資格にしても同じだと思います。子どもたちには人間力をつけて豊かな人生を送ってほしいと思います。
- やりたい仕事を見つけるために大学等に進学することも悪くはないが働いてみてこの仕事がよかったと思うこともあると思います。現在は、コミュニケーションが大事なことを忘れがちで、SNS などでは発信できるのに直接は言えない。若い人に合わせて指導する立場の人が変わらなければいけないと思います。昔話はいもう必要ない時代であると思います。
- とりあえず仕事につくなら納得して後悔のない仕事を見つけることができるよう親としても必要な情報を集めるように取り組みたい。
- 人として当たり前のことをできるようにすること。挫折してしまっても負けないで前に進んで行くことができる力をつけることが大事であると思いました。離職が全て悪いわけではなく、しっかり自分のやるべきこと、やれることをやった

上での離職であれば、その後にもつながり結果的にキャリアアップにつながると
思います。

- 職業は社会サービスだと思います。学校ではキャリア教育を進めているが、机上のイメージだけでは難しい。サービスを受けて対価を払うというリアリティがITとともに変化しているように感じる。
- 社会に出るといろいろなことがあります。苦痛を我慢せよとは言いません。だからといってあっち行って、こっち行ってでも困ります。まさしく、働き続けるベースを身に付けるコミュニケーション能力だったり、人間同士の付き合いが上手にできるような人間になってほしいと改めて思いました。
- 親としては資格を何か取ってくれば安心できると思っていましたが、確かに資格をもっているだけではダメなんだと感じました。資格を生かすためにも講演にもありました社会人基礎力（Action、Thinking、Teamwork）を身に付けることが大切であるということが分かりました。
- どんな仕事についても、人間性がしっかりとしていなければならないとは確かに感じています。学校の中だけではなく、社会人になってから考え、身に付けていくことも多いように思います。そのために離職してしまうのもある程度は仕方ないことではないかと思えます。最終的に自分が思う目指す人になることや、就きたい職業に就ければよいと思えます。考えさせられる講演でした。
- 「当たり前のことを当たり前にする」自分は子どもにきちんと親として教えられたであろうか。内面、外面とあるが、外面だけでも当たり前のことのできる子どもに育てて社会に出てほしいと思いました。
- 「当たり前のことのできる」ことが一番難しいことだと思います。視点として何が当たり前で何が当たり前のことではないのかを考えることも必要だと思います。今まで当たり前だったことが現在は当たり前ではないこともあり、我々大人が変化に対応することも必要だと思います。

<今後の取組>

役員会で出された意見や感想とともに、本校の全ての保護者に再度、札幌大谷大学の平岡教授の講演の動画配信について、周知を行う。